



大阪・関西万博

■期 間
2025年4月13日～10月13日
■会 場
大阪市此花区夢洲(ゆめしま)

メインテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」で、最新テクノロジーや人々の幸せを描いた未来像を体験できる。会場には、最先端テクノロジーを駆使したパビリオンが立ち並び、未来の暮らしを体感できる没入型の展示となるほか、SDGsの達成に向けた取り組みの紹介もある。日本館では伝統と革新が融合した日本の技術など、民間パビリオンでは各企業が考える未来のライフスタイルを体験できる。大阪・関西の豊かな食文化や歴史ある伝統文化などを堪能できそうだ。

万博が持つ人・モノを呼び寄せる求心力と発信力を生かして、日本の成長を持続させる起

20年ぶり日本開催 未来の社会を体験

爆剤になることも狙いの一つ。地域経済や中小企業の活性化も目指している。

24年12月時点で世界158の国・地域が参加を表明。会場の夢洲は大阪市此花区に造られた人工島で、広さは東京ドーム約33個分。世界最大級の木造建築で1周約2.9kmの大屋根リングは今回の万博のシンボルと言える。

国際博覧会は、世界各国が一堂に会し、文化や科学技術、未来像を共有する祭典。起源は1851年のロンドン万博にさかのぼる。以降、さまざまなテーマを掲げ、時代の進歩や変革を象徴する場となり、2020年までに100回以上開催されている。

日本で初めて開かれたのは、1970年の大阪万博。アジアでも初めての万博で、日本の高度経済成長を象徴する大イベントだった。今回の大阪・関西万博は、2005年の愛・地球博に続き、20年ぶりに日本で開催される国際博覧会となる。



富岡製糸場を訪問

子どもたちの絵画交流

国際交流まつり

給食にミクロネシア料理

日本国際博覧会(大阪・関西万博)に合わせ、富岡市はミクロネシア連邦と相手国として「万博国際交流プログラム」に登録した。プログラムは、自治体と万博参加国との交流活性化や新たな交流を支援する国の事業。市は子どもたちの絵画や学校給食、「富岡シルク」などを通して、同国との友好をさらに深め、国際交流や地域活性化を推進する。

■絵画や給食■

プログラムでは、子どもたちによる絵画交流、市内で生産された繭を原料とする「富岡シルク」を通じた交流、7月31日の万博ナショナルデー前後に訪日する同国関係者との文化交流、国際交流まつりなどを計画している。

昨年11月27日には、同国にちなんだ献立を市内小中学校の給食で提供。児童生徒約3000人が料理を通して、同国の食文化への理解を深めた。同国の主要な作物や水産物のうち、日本でもなじみのある食材をメニューに採用。マグロの竜田揚げや青パパイヤのスープ、サツマイモのサラダを

■30年の交流■

市国際交流協会を中心に、富岡市と同国は30年ほど交流を続けている。2年に一度の「国際交流まつり」にミクロネシア大使を招いて食や文化を紹介している。新型コロナウイルス感染症のまん延のため予定していた事後の流事業は中止されたものの、東京2020オリンピック・パラリンピックでは同国のホストタウンとして登録した。

ミクロネシア連邦と万博国際交流プログラム 富岡市

相互理解 より深く、より広く



写真①



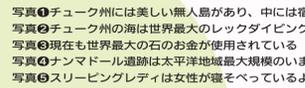
写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



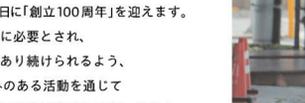
写真⑦



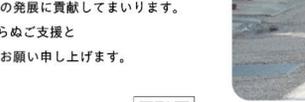
写真⑧



写真⑨



写真⑩



写真⑪



写真⑫

変わっていく町並み
変わらぬ人の温かみ
守りたい場所がある
守りたい人がいる
「私たちにできる」こと
「私たちにしかできない」こと

しのめ信用金庫は、本年6月25日に「創立100周年」を迎えます。これからは地域に必要とされ、信頼される金融機関であり続けられるよう、信用金庫らしい温かみのある活動を通じて、これまで以上に皆さまと地域の発展に貢献してまいります。今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



SHINONOME 100th ANNIVERSARY



友好親善さらなる発展を

ミクロネシア連邦 ジョン・クリット大使



早いものでミクロネシア連邦と富岡市との親善交流が始まってから30年ほどの月日がたちました。この間、毎回ご招待いただいている国際交流まつりでは、たくさん子どもたちや市民の方々に、ミクロネシア連邦の文化

を紹介する素晴らしい機会をいただきました。また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の際には、ホストタウンにもなっていたなど、富岡市との深い絆を築いてまいりました。このたび、万博国際交流プログラムの相手国にご登録いただき、両国子どもたちや市民の方々の文化交流活動が行われることに、心より感謝いたします。引き続きミクロネシア連邦と富岡市との友好親善が、さらに発展することを切に願っております。



▶ミクロネシア連邦

太平洋西部に位置する島国。赤道の北上の広大な海域に浮かぶ607の島と環礁からなる。言語や文化、習慣が異なる四つの州(ヤップ州、チューク州、首都のあるボンベイ州、コスラエ州)で構成される。島によって特有の言語があり、公用語は英語だが、ヤップ語、ボンベイ語など主な八つの民族言語が使われている。人口は約11万人で首都はパリキール。主な産業は水産業、観光業のほか、ココナッツ、タロイモ、バナナなどの農業。

富岡市

子育て支援策の一層の充実を目指し、富岡市は富岡北部運動公園(もみじ平総合公園)の再整備を進めてきた。3年かけて複合遊具を設置したり、水遊びを楽しめるエリアを新設。ロングスライダー



もみじ平総合公園に新遊具

とした児童向け遊具や幼児向け遊具を設置し、水遊び場を新設した。以前から市民に愛されてきたロングスライダーは老朽化に伴い改修した。恐竜の口から滑り降りるデザインで、スライダー部分は旧設備より3割長い34mになった。また、2019年の台風19号で被災した市和合公園のテニスコートに替わる新コートも園内に整備した。



身も心も大人も子どもと一緒に

もみじ平総合公園などで行われる市の事業「プレーパーク」が好評だ。プレーパークは、大人が決めたプログラムに沿って遊ぶのではなく、極力禁止事項をなくし、子どもも自由な発想で、多様な遊びを体験できることが特徴。年代や学校に関係なく、子



も、保護者、住民らが一緒に作り上げ、楽しめる。子どもたちにとって、自ら考え実行し、周囲の人との関わりを持てる場でもあるほか、新しいコミュニケーションづくりにもなる。さらに一般的な公園とは異なる魅力を持つ「遊び場」は、市内外に誇れる

安全で楽しい遊び場 充実

教えてほしい!! 富岡のいいところ
子育て支援の充実や新たな観光スポットの整備が進む富岡市。同市出身で市が運営する暮らしと移住の情報サイト「まゆといと」のライターを務める松尾裕子さんはそんな富岡を「自然が豊かで、人も温かい、暮らしやすい街」と話す。15年間カナダで暮らし、パンパ国立公園の旅行会社で働いていた。団体客の案内、宿泊や食事の支援などを担当。だ



「豊かな自然、温かい人たち」
が充実していた生活はコロナ禍で一変した。仕事ができなくなり、家族で住む場所を模索する中、富岡市の「まゆといと」を見て、生まれ故郷の魅力に再認識。2020年4月、帰国した。富岡で生活を始め、改めて良さに気付いた。「四季があって、食べ物おいしい、パンパではほとんどの野菜が輸入で味も薄かったから。穏やかな自然環境も魅力の一つ。夏の暑さは厳しくても、冬はからって晴天天率が高く、暮ら

しやすい。地域の人の温かさも実感するとい。ライターとしてさまざまな人に会う。「地域の良さを発信するのが私の仕事。最近では取材したい人がたくさんいて困っちゃう」と笑う。魅力的な人、面白い店などを見つけ、サイトで紹介することによりやりがいを感じている。

「まゆといと」の詳細はこちらへ

新観光スポット 特産生かしたクレープ

妙義山周辺の観光や登山情報を発信したり自然や歴史を紹介する妙義ビジターセンター。センター内の「山カフェ妙義」が、新たな観光スポットとして注目されている。特産のこんにやくを使った「珈琲こんにやくクレープ」、季節の果物をたっぷりのせた期間限定の「フルーツクレープ」=写真=などを提供。市内の飲食店15店が提供する「富岡クレープ」の一つとして人気だ。コーヒーは「珈琲焙煎所 月とゆづつ」が独自にブ



山カフェ妙義
・富岡市妙義町妙義1-5
・☎0274-73-2585
・営業時間 11~15時
・定休日 月曜日(祝日の場合は翌日)

富岡クレープの情報ははこちらへ

子育て支援充実に全力

富岡市長 榎本義法
富岡市は、子育て支援の充実に図るため、魅力ある公園の整備や「プレーパーク」の実施に取り組みしています。もみじ平総合公園においては、遊具のリニューアルや水遊び場の整備により、週末を中心に多く子どもたちでにぎわっているほか、「プレーパーク」では子どもたちが自らの手で遊びを生み出しています。子どもたちが自由に伸び伸びと遊べる環境づくりを通じて、子育てしやすい、魅力あるまち「とみおか」を目指す子どもたちが富岡市に誇りが持てるようさまざまな施策に取り組みでまいります。



プレーパークの詳細はこちらへ

Advertisement for Shinonome 100th Anniversary featuring various local businesses and services. Includes logos for yokowo, 富岡観光水産協会, 認知症や介護でお困りの方ご相談下さい, マンナンライフ, and a list of partner organizations like Earth Care, Aizawa, and others.